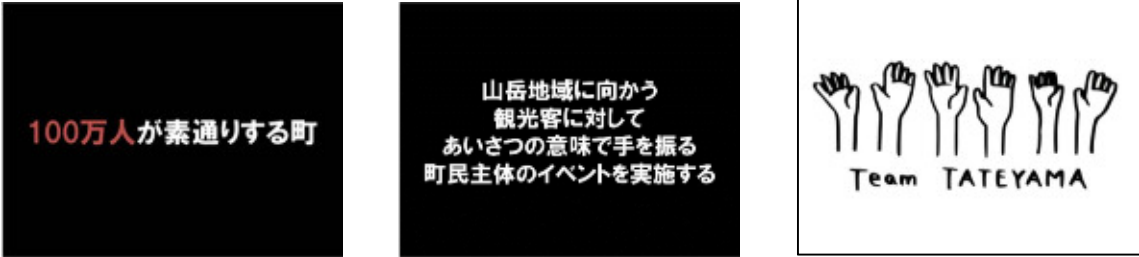


平成24年度 富山の魅力発信事業 プレゼンテーションまとめ
 (立山町班「地域資源」チーム)

【東京側の発表】

タイトル	ようこそ、立山町へ！ ～100万人の観光客に手を振ろう～	
提案内容	課題設定	観光客に魅力的な歴史や文化を伝えようとしているが気づいてもらえない。
	提案のコンセプト	観光客に立山町の麓エリアに目を向けてもらうために、立山町民から観光客にメッセージを届けるイベントを実施する。
	具体的方策	山岳地域に向かう観光客に対して挨拶の意味で手を振るイベントを実施。立山に向かう一本の道路を走るバスや一本の線路を走る電車に向かって手を振ることで、「100万人が素通りする町」から「100万人も一瞬出会える町」にする。
提案資料抜粋		

【富山側の発表】

タイトル	多手山プロジェクト ～100万人と立山町民を手で繋ごう～	
提案内容	課題設定	素通りする100万人の観光客に立山町の本当の魅力を味わってほしい。
	提案のコンセプト	立山に向かう観光客に手を振る「多手山プロジェクト」の実施により立山町ファンを増やし、麓エリアで立山町を味わう魅力体験メニューを企画する。
	具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> ・越中瀬戸焼の里「新瀬戸地区」で陶芸イベントを開催 小さな手形プロジェクト、地域と連動した作陶プログラムなど ・観光バスが通る県道沿いの田んぼで観光バスに手を振りながらBBQ ・農閑期の田んぼで遊ぼう！過ごそう！手を振ろう！
提案資料抜粋	